

# 刊行にあたって

本市では、「世界の環境首都」の実現に向け、「市民環境力の持続的発展」、「低炭素社会づくりの推進」、「循環型社会づくりの推進」、「生物多様性保全の推進と快適な生活環境の確保」の4つを、北九州市環境基本計画の柱に掲げ、市民・NPO、事業者の皆様とともに、様々な環境施策に取り組んでいます。

なかでも、柱の一つ「市民環境力の持続的発展」に向けては、昨年10月に市制50周年を記念して「北九州エコマンス」を実施し、環境イベントや「OECDグリーンシティ・プログラム北九州レポート発表記念会議」をはじめとした国際会議など、官民一体となった多くの取組が市内各地で開催されました。

とりわけ、古紙として回収可能な包装紙などの雑がみを回収する「市民いっせい雑がみ回収グランプリ」では、10月の1ヶ月間で約100トンの雑がみが集まり大きな成果を得るとともに、「北九州エコライフステージ」や「市民いっせいまち美化の日」等のイベントでも、前年以上の多くの方々に参加いただき、改めて、北九州市民の環境力を実感することができました。

「低炭素社会づくりの推進」に向けては、その行動指針となる「北九州市環境モデル都市行動計画」を昨年度改訂しました。計画では、2050年までに市域の温室効果ガス排出量を半減するという高い目標は引き続き掲げるとともに、市民の皆様が気軽に参加できる事業を盛り込むなど、より地域に根差した内容にしました。

また、ごみの減量化・再資源化の推進など「循環型社会づくりの推進」を着実に進めるとともに、響灘ビオトープによる自然とのふれあいの場の創出や、微小粒子状物質(PM2.5)等の大気汚染や水質汚濁の防止など、「生物多様性保全の推進と快適な生活環境の確保」にも、引き続き努めてまいります。

このほかにも、北九州スマートコミュニティ創造事業や、アジア低炭素化センターを軸にした海外に向けての都市環境インフラビジネスなど、幅広い取組も同時に推進していきます。

今後も、「市民環境力」で培った50年の歩みを踏まえ、次の50年に向け、環境の絆で結ばれた豊かな暮らしが実感できるまちを目指していきます。

なお、小誌は、平成25年度の本市の環境の現状と環境保全の施策をまとめたもので、皆様に広く活用され、本市の環境行政に一層のご理解、ご協力をいただければ幸いです。